

復習シート 第二学年 国語



組	番号	名前
模範解答		

【本文略】

問一 ――線部「嘉助は夢中で短い笑い声をあげて、その道をぐんぐん歩きました」とありますが、そのときの「嘉助」の気持ちを次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。**レベル6・7**

- 1 聞いたことのない音が、たくさん聞こえて驚いている気持ち。
- 2 恐がっている自分に気づき、恥ずかしい気持ち。
- 3 友達が呼んでいる声が聞こえ、安心した気持ち。
- 4 馬の通った道を見つけることができ、喜んでいる気持ち。

4

気持ちを表す語彙に惑わされず、これまでの物語の展開と、笑い声をあげたきっかけを見つけて考えましょう。

問二 この文章の表現の工夫について、山田さんと鈴木さんの会話を読み、（ ）に当てはまる言葉を文章中から書き抜きなさい。**レベル8・9**

山田くん 「この文章は、嘉助の気持ちの変化が情景描写でも、よく表れているね。僕は、空についての表現の変化がとても印象に残っているよ。』

鈴木さん 「そうだね。私は別の情景に興味を持ったよ。『冷たい大きな（ ）』を読んだときは、嘉助の気持ちにあったかすかな希望が完全に無くなってしまったかのような衝撃を感じたよ。』

黒い岩

情景描写とは、心情が表れていると考えられる風景や景色です。「嘉助」の見た風景や景色で希望が無くなったような「冷たさ」を感じさせた描写を見つけてみましょう。

似た表現では「黒いもの」とありますが、正解とは言えません。嘉助は「黒いもの」を家（のようなもの）と思っていたので、その時点では希望を完全に失っていないことが分かります。

復習シート 第二学年 国語



組	番号	名前	模範解答

【本文略】レベル7～9

問一 ——線部①「それは掛け値のない一、二秒の間のできごとである」とありますが、「掛け値」はこの場合、物事を大げさに言うことを意味します。この部分についての説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 少女の映っていた時間が、ほんのわずかな間のできごとであったということ。
- 2 少女の映っていた時間が、ずいぶんと長い間のできごとであったということ。
- 3 ヴェネチアの風景の映っていた時間が、ずいぶんと長い間のできごとであったということ。
- 4 ヴェネチアの風景の映っていた時間が、ほんのわずかな間のできごとであったということ。

1

問題文にある「掛け値」の意味を基に考えると、「大げさに言うわけではないが、本当に一、二秒の間のできごとであった」ということを意味していることがわかります。文脈に即して語句の意味をとらえましょう。

——線部①のすぐ後の一文に、「少女」や「いつの間にか…」といった言葉が書かれていることにも注目しましょう。



問二 ——線部②「『さあ、今後は何を映そう？』けれども保吉は耳にもかけず、ヴェネチアの風景をながめつづけた。」とありますが、この場面についての説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 父は少女が映っている画が他にもないか探そうとしたが、保吉は少女が再び現れることはないかと諦めている。
- 2 父は他の画を映し出すことを提案したが、保吉は少女がもう一度幻灯の画に現れるのではないかと考えている。
- 3 父はヴェネチアの風景の映り具合を気にしたが、保吉は自分が愛する浅草や銀座の風景の映り具合を気にしている。
- 4 父は保吉に幻灯を映すように促したが、保吉はヴェネチアの静かな風景がとても気に入ったので父の発言に答えずにいる。

——線部②のすぐ後に、「いつかはどこかの窓から、大きなリボンをした少女が一人、突然顔を出さぬものでもない」などの文から、考えてみましょう。

2